

## 2-7 福島県東部におけるラドン観測 (XVIII)

### Radon Observation in the Eastern Part of Fukushima Prefecture (XVIII)

東京大学大学院理学系研究科  
Graduate School of Science, The University of Tokyo

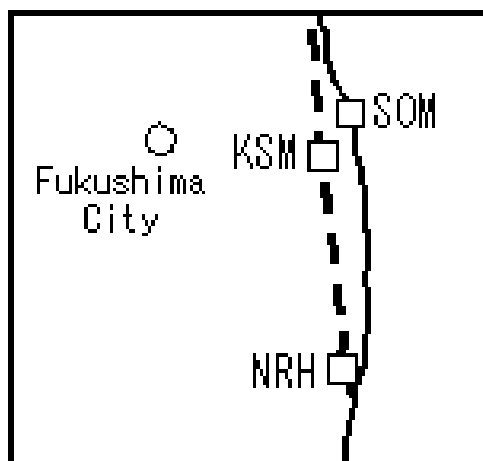
前報<sup>1)</sup> に引き続き、福島県東部における地下水のラドン濃度の連続観測結果（1999年11月～2001年5月）を報告する。

観測点は、第1図に示す相馬（SOM）、鹿島（KSM）、楢葉（NRH）の3地点である。第2図は、SOM、KSM、NRHにおける、1時間毎のラドン濃度（積算値）の24点移動平均値の時系列である。図の右上には、1997年以降のラドン濃度の観測値を示してある。

SOMでは例年どおりラドン濃度はきわめて一定である。また、どの観測点でもラドン濃度には、夏高く冬低い年周変化が見られる。

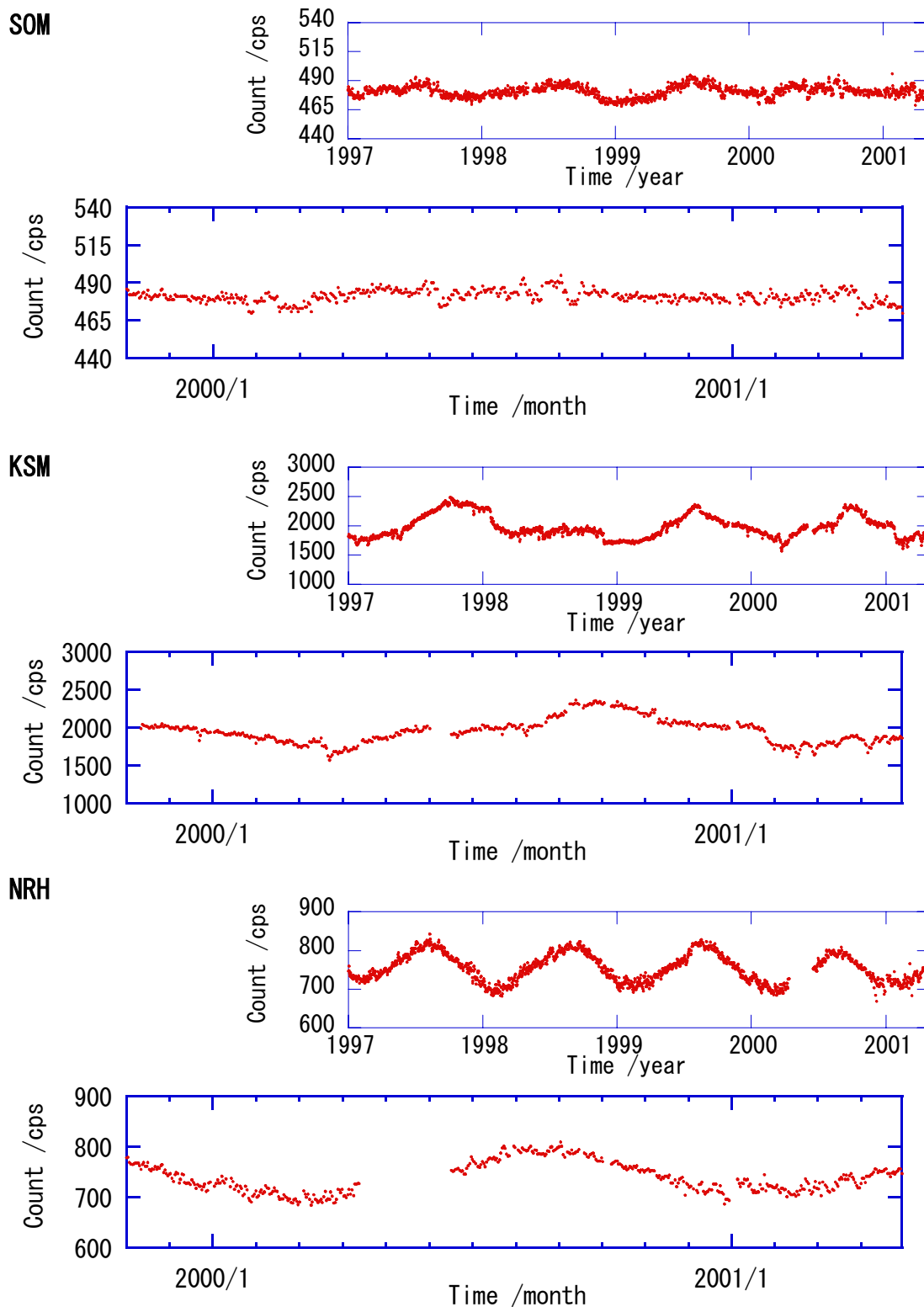
#### 参 考 文 献

- 1) 東京大学大学院理学系研究科：福島県東部におけるラドン観測 (XVII)，連絡会報，64 (2000)，87-88.



第1図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig. 1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture.



第2図 SOM、KSM、NRHにおける地下水のラドン濃度変化

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in ground water at SOM, KSM, NRH. The data are 24-hour moving average value.